

第1種公式記録員 認定ルール考査問題

受験番号 () 都道府県名 () 氏名 ()

次の文章で正しいものに○、間違っているものに×を () 内に記入しなさい。

- 1 () 5回表、3番Bの代走Hが出場。Hは残塁となり、攻守交替後、Bが無通告で守備について、副審に知らせた。
- 2 () 同点で迎えた7回裏、一死走者三塁。次打者の打球はセカンドゴロ、二塁手はバックホームをしたが間に合わずセーフとなった。二塁手は捕球後直ちに一塁へ投げていれば、打者走者をアウトにできたと判断される打球であったが、安打を記録した。
- 3 () 両チーム同点のまま10回裏、二死一・三塁。打者の打球はセンター頭上を越え、競技場外に出た。打者に本塁打と打点3を記録する。
- 4 () 一死一塁。バントを処理した一塁手が一塁ベースカバーの二塁手に悪送球し一・二塁となった。打者には敵失による出塁とだけ記録した。
- 5 () 一死走者三塁。中堅後方の飛球に追いついた中堅手が捕球体制に入ったが落球、三塁走者は生還した。中堅手には失策、打者には敵失だけによる出塁を記録する。
- 6 () 無死。右中間への飛球で三塁走者が生還したが、一塁走者が捕球より先に離塁していたため右翼手は一塁手へ送球、アピールアウトが成立しダブルプレイとなった。打者には打点が記録されない。
- 7 () 捕手からの好送球を野手が落としたため、盗塁を企てた走者がアウトを免れた場合、送球を落とした野手に失策、捕手に補殺を記録し、走者には盗塁を記録しない。
- 8 () タッチアップが早すぎた走者にアピールが認められ、アウトが宣告されたときは、アピールした塁に近い野手に記録される。
- 9 () 打者の三振は、投手に補殺、捕手に刺殺が記録される。
- 10 () 一連の送球において、野手が球を扱い走者をアウトにしたとき、1つのアウトについて1人の野手が何回送球を扱っても、ただ1つのアシストしか与えられない。
- 11 () 走塁妨害によって与えられた塁と、プレイの結果によって進むことができた塁とが同じだと記録員が判断したときは、走塁妨害をした野手に失策を記録する。
- 12 () 無死走者一塁。打者が一塁手正面のゴロを打った。一塁手は一塁ベースを踏んで二塁へ送球し、遊撃手が一塁走者にタッチしアウトとなった。ダブルプレイは記録しない。
- 13 () 1番打者は遊撃ゴロ失策で出塁。2番打者の遊撃ゴロで二塁封殺された後、3番打者が中越本塁打を放った。2番打者は失策で出塁した走者と置き換わった走者であり、自責点の対象にならない。アウトの機会は2度なので、3番打者の本塁打による得点は、自責点の対象となる。
- 14 () 自責点が復活する要因は、安打・四死球(故意四球含む)・不正投球だけである。
- 15 () 3対1とリードをしていたSチームのA投手は、4回裏一死後、満塁の走者を残してB投手と交代。B投手は1点を取られたが最後まで投げ抜き、3対2でSチームが勝った。勝利投手はB投手である。
- 16 () 一死後捕手Aが死球で出塁、次打者Bは三振、テンポラリーランナーとなる選手は、捕手の前の打順の者である。ただし、捕手の前の打順の者が走者となっているときは、さらにその前の打順の者がテンポラリーランナーとなる。
- 17 () F Pは二塁手であったが、再出場する時に遊撃手として再出場した。これは再出場違反である。
- 18 () D PがF Pあるいはそれ以外のプレイヤーの守備を兼ねている状態で交代するとき、またはF PがD Pの打撃を兼ねている状態で交代したときは、兼務解除の通告がない限り、そのままの状態を引き継いで交代したものとみなす。
- 19 () F P以外の守備を兼ねているD P・Cに代わり、「代打F P・D」とだけ通告があった。この交代は可能である。

- 20 () 捕手が塁上の走者となっていて、打者Bが三振に倒れ、二死となったとき、B選手を捕手の代わりにテンポラリーランナーとして使用することができる。
- 21 () 一死。2番打者の打順で3番打者が三塁ゴロを打ち、一塁でアウトになった。この直後、打順誤りのアピールがあったので、打順を誤った3番打者のアウトは取り消さず、打順を抜かされた2番打者もアピールアウト。三死で攻守交代となり、次の先頭打者は4番打者である。
- 22 () 試合が正式試合となった後に引き分け試合となった場合、投手の勝ち負けを除き、試合終了までに記録された個人及びチームの記録はすべて無効である。
- 23 () チームの打席数は打数+犠打+四球+故意四球+死球の合計である。
- 24 () 完全試合が記録された。スコアカードには投球数と、アウトの内訳だけをメモで追記した。
- 25 () 試合開始前（攻守決定していない）に人数不足による棄権試合があった。スコアカードは先攻チームが7対0の勝利として残す。

MEMO

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

受験番号 () 都道府県名 () 氏名 ()